Residential IP Proxy サービスのホストを介した潜在的不正行為の調査

守屋龍一, 北原拓海, 福田ひかり, 菊池浩明

明治大学 総合数理学部

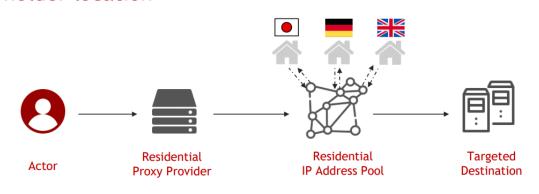
背景

◆ 本来の目的以外でResidential IP Proxy (以下RESIPとする)サービスが

違法行為に不正利用されていることを指摘 [1] (MiS)

▶ 例:違法な広告プロモーション、フィッシング、マルウェアホスティングなど

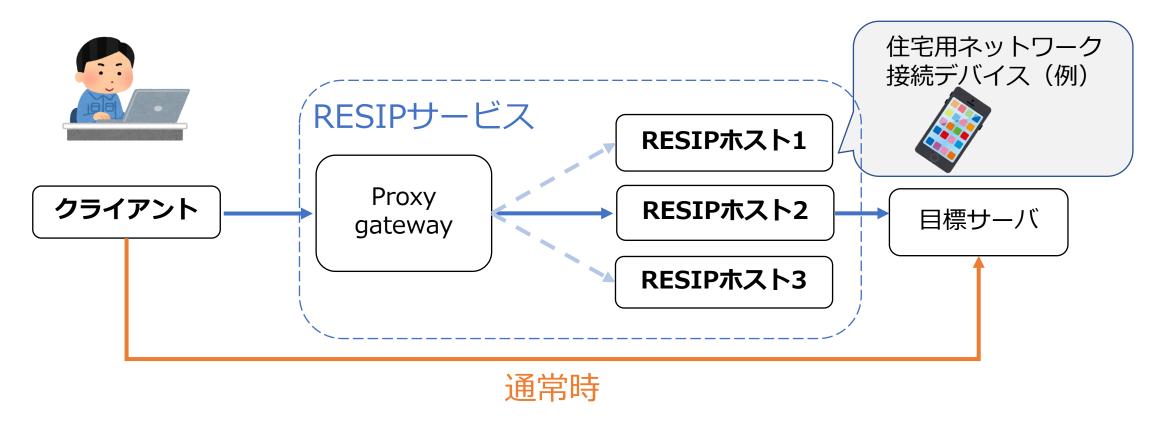
Residential proxy covers actor identity and fakes card holder location



フィッシング等で集めた クレジットカード使用時、 身元の秘匿、場所の偽装が可能

RESIPサービスとは

- ◆ 通信を中継するプロキシサービスの一つ
- ◆ 中継機が実際に使用されているデバイスのため通常時と区別されにくい

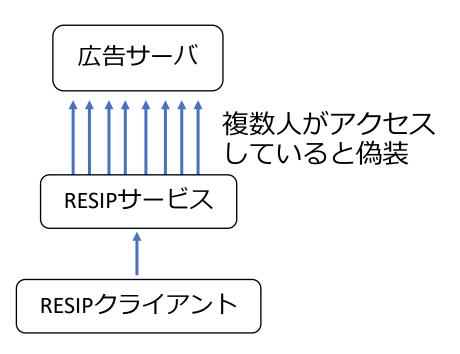


RESIPの利用目的

- ◆ ネット検閲の回避
- ◆ 身元の秘匿



- ◆ クローリング
- ◆ 広告アクセス数の水増し



RESIPプロバイダ比較

プロバイダ	bright data	Proxyrack	× oxylabs°	PROXYSELLER
プロトコル	HTTP/HTTPS, Socks4, Socks5	HTTP/HTTPS, Socks4, Socks5	HTTP, HTTPS	Socks5, HTTPS
1ケ月分の料金	USD15.00/GB~	USD49.95/10GB~	USD15.00/GB~	USD1.64/IP~
RESIPの所在国数	195か国	195か国	195か国	50か国
RESIPが交換される 間隔の指定	×(IPを交換しない ことは可能)	〇 (5, 10, 15, 30, 60分)	0	×
RESIP所在地指定	0	0	0	契約時に指定 変更不可
リクエストごとに RESIPを変更	0	プランによる	0	×

リサーチクエスチョン

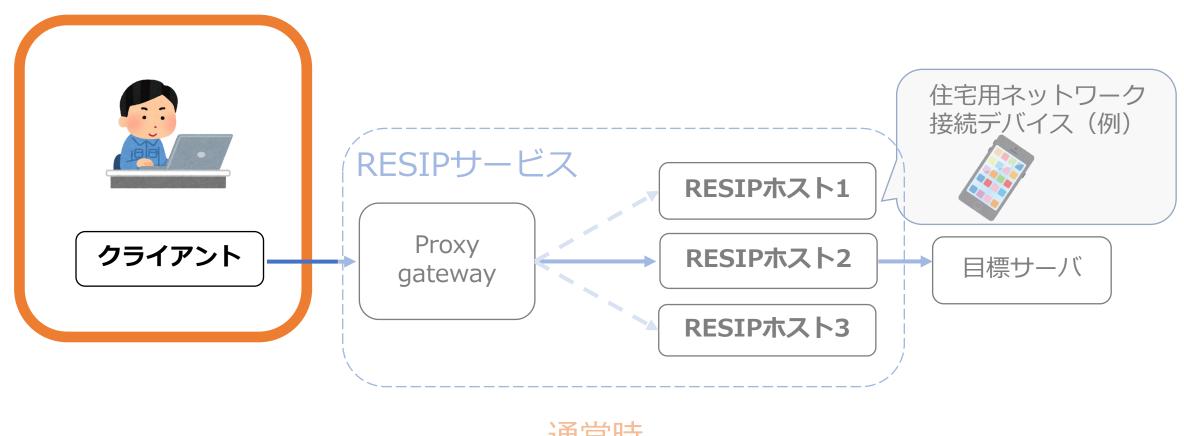
- ◆ Q1. RESIPホストは悪性サイトと通信している?
- ◆ Q2. 広告不正をしている?
- ◆ Q3. マネタイズに使われている?

リサーチクエスチョン

- ◆ Q1. RESIPホストは悪性サイトと通信している?
- ◆ Q2. 広告不正をしている?
- ◆ Q3. マネタイズに使われている?

RESIPクライアントへ与える影響の調査

◆ RESIPサービスが不正が行える環境であるのかを調査



調查1:位置情報





RESIPサービス利用時 アメリカ合衆国

位置情報の調査結果(RESIPホストの位置が推定された件数/総数)

Bright Data	ProxyRack	Oxylabs	Proxy-Seller
0/20	20 /20	20 /20	10/20

調査2:ターゲット広告



広告調査結果(影響を受けた広告数/全広告数)

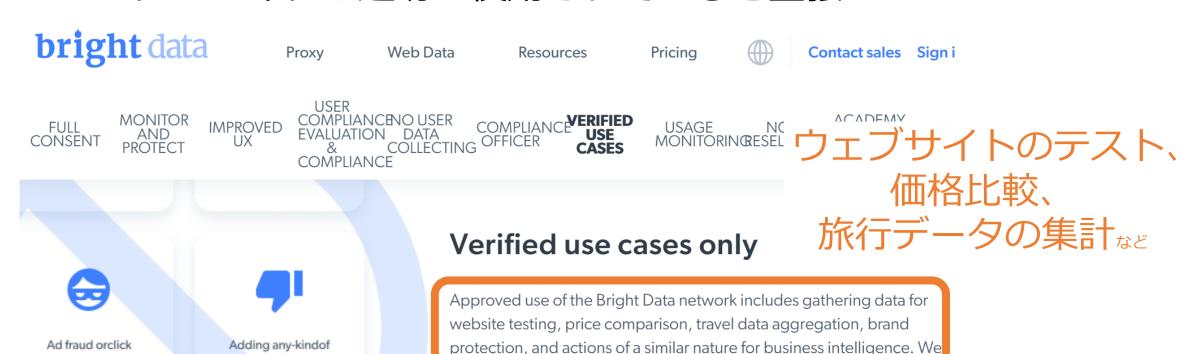
Bright Data	ProxyRack	Oxylabs	Proxy-Seller	平均
0.42	0.55	×	0.54	0.50

Oxylabsの"×"は広告が表示されなかったことを示す

広告業者を偽ることが可能

RESIP不正利用の報告に対してプロバイダ側の主張

◆ RESIPプロバイダは適切に使用されていると主張



ao not accept any use of our network that alms to emulate a real user in return for direct payment, misleading purposes or fraudulent activity.

For more information, see our Acceptable Use Policy.

reviews

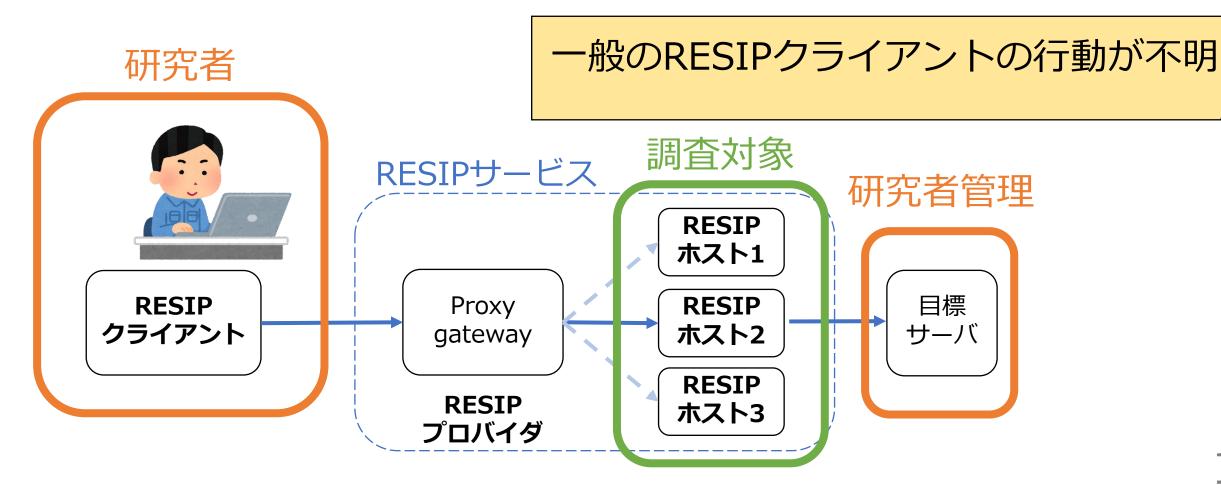
fraud

広告詐欺

https://brightdata.jp/ethical (2023/1/17 閲覧)

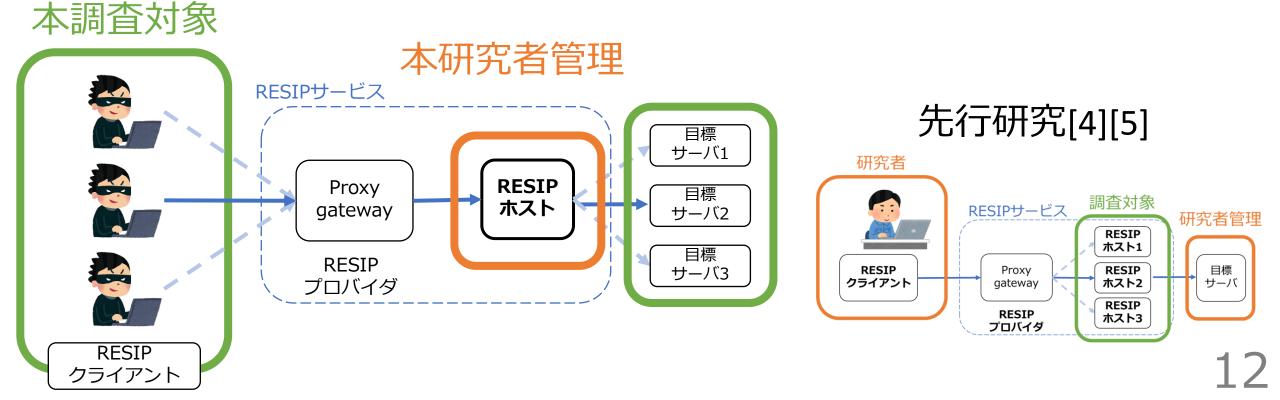
先行研究の問題点

◆ RESIPクライアントになった際の通信情報の調査[4][5] (半澤ら、住友ら)



解決策

- ◆ RESIPサービスの不正利用の実態を調査
 - ➤ 実際にRESIPホストになり、RESIPクライアントの利用内容を推測



リサーチクエスチョン (再)

- ◆ Q1. RESIPホストは悪性サイトと通信している?
- ◆ Q2. 広告不正をしている?
- ◆ Q3. マネタイズに使われている?

RESIPホストに関する実験

- ◆ 実験1: RESIP 検出プログラムの開発と評価 (4.3.1)
 - RESIPホストの通信の調査、RESIP検出プログラムの作成
- ◆ 実験 2: RESIPホスト比較実験 (4.3.2)
 - Q1、Q2の回答
- ◆ 実験3: RESIPホスト24時間観測 (4.3.3)
 - Q3の回答

実験方法

- ◆ 実験2:RESIPホスト比較実験 (4.3.2)
 - **Bright Data、ProxyRack、Oxylabs**のRESIP環境、**通常環境**(非RESIP環境)
 - Wiresharkで上記環境の通信を5時間観測
- ◆ 実験3:RESIPホスト24時間観測 (4.3.3)
 - Bright Data、ProxyRackのRESIP環境
 - pysharkで上記環境の通信を24時間観測

- ・ドメイン
- IPアドレス
- 通信時間分布 など

pyshark

Python でリアルタイムパケット 分析を可能にするパッケージ

実験結果 概要

VirusTotalの分類タグで分類

観測したIPアドレスとドメイン総数

	IPアドレス総数	ドメイン	総数
Bright Data	645	4	130
ProxyRESI	Pサービスの	通信を	68
Oxylabs 🛱	継している	ため	173
通常時	45		27

宛先 IP アドレス の国判定結果

	国総数
Bright Data	18
ProxyRack	31
Oxylabs	12
通常時	8

GeoLite2 Free Geolocation Data で判定

ドメインのカテゴリ分類結果

ドメインカテゴリ	Bright Data	ProxyRack	Oxylabs		
Travel	5%	1%	2%		
Shopping	13%	5%	4%		
Advertisments	11%	0%	37 %		
Social Networking	3%	15 %	6%		
Web Analytics	4%	0%	7%		
Finance	2%	1%	1%		
Sea ARESIPサービスの 利用内容に差がある					
News	カバカに	圧りる	5%		
			1 6		

悪性サイトとの通信

ドメインの悪性判定結果

	Bright Data	ProxyRack	Oxylabs	先行研究[1]
悪性総数	24	4	7	_
悪性割合 [%]	5.6	5.9	4.0	5

悪性ドメイン例

cpi-offers[.]com

api.bdisl[.]com

ariesbee[.]com

- ◆ どのRESIPホストも悪性サイトと通信
- ◆ RESIPサービスは匿名で通信を行うことができる

IPAの報告書[20]で、「不正プログラムへの感染や実行,フィッシング詐欺被害等の脅威がある不正サイト」

フィッシング運営などの作業に RESIPサービスを悪用している可能性

広告不正

広告に関するドメインが最初

◆ RESIPサービスは、リクエストごとにIPアド変更可能(ボットの検出)

見積条件(1か月)

- ◆ 観測結果
 - 1. 広告に関連するドメインとの通信回数/15時間:347
 - 2. 1 カ月で中継可能なIP アドレス数[4]:7万
- ◆ 仮定条件
 - 観測結果 1 の通信がすべてクリック
 - クリックのインプレッション広告単価:3.12ドル
- ◆ 広告クリック詐欺の可能性
- ◆ RESIP サービス全体での被害額

0.000 0.025 0.050 0.075 0.100 0.125 0.150

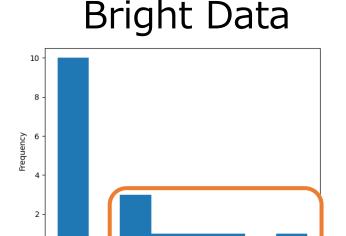
全通信のドメインカテゴリ割合

3,637,670ドル(約5憶円)が見積もられる(1か月間)

マネタイズ

決済サービス(PaypalやAmazon Payなど)と通信を行っていた

- ◆ RESIPサービスは、
 - 使用料最低15ドルと高価
 - 地理的制限を回避し海外 からの不正ログインが可能



RESIP ホストと決済サービスとの 通信時間分布

フィッシング等で不正に入手したアカウントを用いた マネタイズ(現金化)の可能性

決済サービス例:

Paypal

Amazon Pay

merpay

PAYGENT

Netceera

Alipay

CAFIS

アンサー

- ◆ Q1. RESIPホストは悪性サイトと通信している?
 - ▶ 5%前後の割合で通信している
- ◆ Q2. 広告不正をしている?
 - ➤ 可能性あり
- ◆ Q3. マネタイズに使われている?
 - > 可能性あり

RESIPホストに関する実験

- ◆ 実験1: RESIP 検出プログラムの開発と評価 (4.3.1)
 - RESIPホストの通信の調査、RESIP検出プログラムの作成
- ◆ 実験 2: RESIPホスト比較実験 (4.3.2)
 - Q1、Q2の回答
- ◆ 実験3: RESIPホスト24時間観測 (4.3.3)
 - Q3の回答

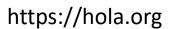
実験1:RESIP検出

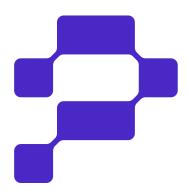
- 先行研究(Tosunらの手法)[6]
 - 3つのアルゴリズムから構成
 - 転送されるパケットの流れ
 - 転送されるパケットのサイズ
 - ホストで行われるDNSルックアップ
- 提案手法
 - ・主要RESIPアプリの通信を観測
 - 観測結果をもとにしたブラックリストを作成
 - Pythonとpysharkライブラリを用いたRESIP検出プログラム

通信を観測したRESIPアプリ

	Hola VPN	ProxyRackアプリ	Honeygain
サービス開始年	2007	2014	2019
RESIPプロバイダ	Bright Data	ProxyRack	Oxylabs







https://www.proxyrack.com



https://www.honeygain.com

観測回数上位10アドレス

通常時

Hola VPN

日時	2022/11/23-28
場所	自宅(東京都江東区)
ホスト	Windows 10

Honeygain

204.79.x.x	27	162.125.x.x	99	38.84.x.x	98	34.237.x.x	89
20.198.x.x	21	3.94.x.x	55	209.205.x.x	68	20.198.x.x	82
117.18.x.x	17	3.228.x.x	52	23.227.x.x	60	104.26.x.x	75
13.107.x.x	16	3.228.x.x	47	192.30.x.x	58	104.26.x.x	75
20.43.x.x	16	3.94.x.x	44	192.34.x.x	56	104.16.x.x	56
204.79.x.x	9	206.189.x.x	34	23.227.x.x	55	20.198.x.x	55
20.212.x.x	4	40.70.x.x	28	44.233.x.x	55	20.198.x.x	53
117.18.x.x	3	20.198.x.x	26	104.21.x.x	40	104.16.x.x	47
40.90.x.x	3	192.81.x.x	24	199.7.x.x	38	104.16.x.x	41
104.78.x.x	2	159.223.x.x	21	213.248.x.x	32	23.60.x.x	241

Proxyrack

作成したブラックリスト

3.228.x.x	アメリカ	Amazon Technologies Inc.
3.94.x.x	アメリカ	Amazon Technologies Inc.
162.125.x.x	アメリカ	Dropbox, Inc.
81.31.x.x	ドイツ	JAGEX
23.227.x.x	アメリカ	Leaf Group Ltd.
38.84.x.x	アメリカ	PSINet, Inc.
104.16.x.x	アメリカ	Cloudflare, Inc.
104.26.x.x	アメリカ	Cloudflare, Inc.
18.65.x.x	アメリカ	Amazon Technologies Inc.
34.237.x.x	アメリカ	Amazon Technologies Inc.

検知精度の比較

- 従来手法と比較して真陽性率(TP)は微減
- 真陰性率(TN)は増加

	Hola VPN	ProxyRackアプリ	Honeygain
Tosunら[6]の手法 TP	100	99	100
Tosunら[6]の手法 TN	88	88	88
提案手法 TP	99	98	100
提案手法 TN	100	100	100

結論

- ◆ RESIPサービスに関する不正行為の可能性を示した
- ◆ RESIPの検知は可能

- ◆ 今後の課題
 - ◆ 不正行為の詳細を明らかにすること
 - ◆ RESIPホストの通信観測を長期間行える環境をつくること